

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科目区分	専門分野	授業の方法	実習
科目名	鍼灸総合実技		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	5階実技室
担当教員	寶田 潤	実務経験とその関連資格	田中整形外科クリニック・西村胃腸科外科クリニックで5年(1996年～1998年・1999年～2002年)リハビリテーション室にて鍼灸師として勤務 はり師きゆう師			
《授業科目における学習内容》						
臨床現場に必要な技術を習得する。 臨床上の技術向上を目指す。						
《成績評価の方法と基準》						
後期期末試験100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布プリント 教科書: ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK : 株式会社 滋慶出版/つちや書店 東洋療法学校協会編: 新版 経絡経穴概論 第2版 など						
《授業外における学習方法》						
指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
整形外科的な刺鍼を行います。筋の走行を考え、反応点を見つけ、正確に、より効果的に刺鍼を行うにはどうすれば良いか。鍼の選び方、無針管刺入、押し手の使い方、刺入角度、鍼尖の感覚、刺鍼転向術など基本的な技術を反復して磨いていきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	無針管刺入を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。	
		各コマにおける授業予定	無針管刺入(挟持法・提捏法)			
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	下腿の筋硬結の施術を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	下腿後面を触察し、筋の走行と反応点を探る。押し手を使って正確にポイントに当てる方法を習得。			
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	下腿の筋硬結の施術を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	腓腹筋・ヒラメ筋をメインターゲットに施術を行う。			
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	下腿の筋硬結の施術を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	腓腹筋・ヒラメ筋をメインターゲットに施術を行う。			
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	大腿の筋硬結の施術を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	ハムストリングスをメインターゲットに施術を行う。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外の準備学習 の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	大腿の筋硬結の施術を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	ハムストリングスをメインターゲットに施術を行う。		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	殿筋群・梨状筋・脊柱起立筋・腰方形筋の施術を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	殿筋群・梨状筋・脊柱起立筋・腰方形筋をメインターゲットに施術を行う。		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	殿筋群・梨状筋・脊柱起立筋・腰方形筋の施術を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	殿筋群・梨状筋・脊柱起立筋・腰方形筋をメインターゲットに施術を行う。		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	僧帽筋上部・肩甲挙筋・斜角筋・胸鎖乳突筋の施術を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	僧帽筋上部・肩甲挙筋・斜角筋・胸鎖乳突筋をメインターゲットに施術を行う。		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	菱形筋・大円筋・小円筋・棘下筋の施術を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	菱形筋・大円筋・小円筋・棘下筋をメインターゲットに施術を行う。		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	脊柱起立筋の反応や、棘間や夾脊への施術を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	棘突起の配列と並行する脊柱起立筋の反応を確認し、棘間や夾脊への施術を行う。		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	腰痛の施術を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	下腿後面～腰臀部の施術を応用して腰痛の治療を行う。		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	肩こりの施術を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	頸肩部・肩甲骨周囲・脊柱周囲の施術を応用して肩こりの施術を行う。		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	肩こりの施術を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	頸肩部・肩甲骨周囲・脊柱周囲の施術を応用して肩こりの施術を行う。		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	後期内容の理解を評価する	教科書 配布プリント	後期の範囲を見直すこと
		各コマにおける授業予定	まとめ・評価		